

# 北京消息第45号

## 新潟市北京事務所

中国北京市東城区建国門内大街 18 号  
恒基中心 1-704 号室

<http://city.niigata.org.cn/> 2月28日発行

### 報告 1

### 北京のスキー場

新潟と中国各地の様々な往来を促進することが事務所の仕事の一つです。新潟の魅力を伝え、来ていただくなど観光客の誘致活動も行っています。新潟の冬と言えば、スキーと温泉も欠かせません。PRするにしても、こちらの人たちがどのようにスキーを楽しんでいるのか知らないといけないと、1月末、市内のスキー場に行く機会を得ました。

訪問先は、北京懷北国際スキー場。市中心部の交通の要所・東直門からシャトルバスが月曜日を除く週6日間運行されています。前日までに電話予約をし、乗客が10人に達すると運行するシステム。往復の運賃は



〈当日は平日でしたが2台が運行〉

40元(約680円)です。朝8時10分、集合場所のデパート前を出発、途中1か所経由し、一路スキー場へ。所要時間は約80分でした。

今年の冬は暖冬で、なかなか雪が降らず、市民は初雪を望んでいました。結局初雪は2月7日まで待たされた訳ですが、新潟のスキー場との一番の違いはまさにこの雪でした。万里の長城が見える山肌に、突然現れるスキー場。スキー場のコースとスキーセンター前のゲレンデだけが人工降雪機で降らせた雪で白くなっていました。



〈山が近づき、長城が見えてきます〉

それでも多くの家族連れや仲間たちで賑わっていました。この日は1000人ほどの人たちが楽しんでいるとのこと。週末になると3000人から4000人の人たちで、混み合うそうです。



〈白いところがコース。リフトからの眺め〉



〈周りに雪がなく、新感覚のスキー体験〉

北京懷北国際スキー場は2000年に建設された、北京で最も古いスキー場の一つです。敷地面積は9.6平方キロメートル、万里の長城と接する唯一のスキー場でもあります。コースは初級者用から上級者用まで全8コース、全長5100メートル。1シーズン10万人から12万人が訪れます。

スキーやスノーボードを持参する人は少数で、ほとんどの人はレンタルをするようです。ですから、基本料金の中にスキーレンタル料、リフト代が入っています。平日の半日で140元(2380円)、一日で220元(3740円)、週末になると値段が高くなります。

中国でもスキーやスノーボードをする人は東北地方や北京、河北省を中心に確実に増えており、中には毎年海外に行き楽しむ人もいます。日本では長野県や北海道が知られていますが、ここ数年ハルビンからのスキー客が新潟県内のスキー場へ滑りに来ています。今年の2月中旬には北京からも10人の愛好家が湯沢を訪れました。

スキーを楽しみ、温泉に浸かる。東京からも近いことが新潟の「売り」にもなると思います。(近藤)



〈サービスセンター前のデッキで昼食〉



〈右がウェア、奥がスキーのレンタル〉



〈スキーを終え、駐車場などに向かう  
家族連れなど。身軽な格好で家路に〉



〈スキー場脇のフィンランド風のパンガロー。  
週末になると泊りがけで混み合うとのこと〉

## 報告 2

### 新潟・ハルビン写真愛好家撮影交流の旅

2月9日～12日、新潟の写真愛好家一行が友好都市ハルビン市を訪問し、現地の写真愛好家達と交流を深めてきました。この時期、ハルビンは $-20^{\circ}\text{C}$ ～ $-30^{\circ}\text{C}$ という極寒の季節。それにもかかわらず、一行はハルビン市内各地の名所旧跡を訪れ、雪に包まれたハルビンの美しい景色をおもいおもいにカメラに収め、冬のハルビンを満喫してきました。

その頃ちょうどハルビンでは「ハルビン氷まつり」が開催されており、写真家にとってはいつも以上に魅力的な街となっていました。今回はハルビン市の写真愛好家一行が新潟

からの参加者を迎え、お薦めの撮影スポットなどを案内してくれました。氷まつりの会場では松花江から切り出した氷で作られた建造物がライトアップされ、幻想的な世界を醸し出し、新潟の写真愛好家一行は寒さも忘れ 1 時間ほど撮影を楽しみました。そして夜は交流会を開き、言葉の壁はあるものの、おのおの愛用のカメラの話題などで盛り上り楽しいひとときを過ごしました。

ツアーの途中、1 人のハルビン市民が近づいてきて、昨今の日中間の様々な問題についていろいろ意見を言い始めました。我々を遠巻きに見ている、一行が日本人であることがわかったのでしょうか。当然、新潟の写真愛好家たちは彼の言っていることをききとることはできませんでしたが、私はその状況に少し緊張し戸惑いました。すると、ハルビンの写真愛好家の一人が、「彼らは我々と同じただの市民であり、国家間の問題と彼らは関係ない。写真が好きでハルビンに来てこうやって撮影を楽しんでいるんだ。」と説明してくれました。日中関係がなかなか好転しない中、このように両国の市民どうしが直接交流し互いに理解を深めるような機会は非常に重要だと思いました。(笠原)



新潟・ハルビン写真愛好家一行  
太陽島公園にて



民俗村にて撮影会



カメラのファインダーを見ながら  
日中交流



ハルビン写真愛好家の案内のもと  
氷の彫像撮影会

### 報告 3

### 北京日本人会主催 第一回都道府県対抗歌合戦

2月22日、在中国日本大使館のホールで北京日本人会主催「第一回都道府県対抗歌合戦」が開催されました。このイベントは異国の地北京で日々奮闘している日本人達が一堂に会し、歌をとおして交流し、日本人としての絆を深めましょうという主旨のもと開催されました。

当日は自分の出身県や縁のある県を代表し、42人・組みが出場し、歌唱力・パフォーマンスを競い合いました。新潟からは秋葉区(旧新津市)出身、上海駐在9年、最近仕事の関係で北京に赴任してこられた山口忠弘さんが出場し、北島三郎の「北の漁場」を熱唱し

ました。当日は、現在北京大学に留学中の新潟出身の大学生達も応援にかけつけ、山口さんのパフォーマンスに華を添えました。北京では日中交流に関するイベントが多いですが、このように在留邦人同士の交流を深めるイベントも各種開催されています。(笠原)



新潟代表 山口忠弘さん  
上海駐在時代に培った自慢の歌唱力を披露



新潟応援団の大学生二人(右2名)  
手作りのかわいい応援プラカードを持参しての応援



優勝は福井県代表の御夫婦  
やっぱり奥様が主役?



最後は会場全員で「ふるさと」を合唱

### ■■お知らせ■■

「ビジネス支援サービス」をご活用ください。

新潟市の中小企業、団体等が北京市内で経済活動を行うに当たり、様々な支援を行っています。お気軽にお問い合わせください。

詳しくはこちらから

[http://city.niigata.org.cn/business\\_support\\_service.htm](http://city.niigata.org.cn/business_support_service.htm)